



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV (毎週水曜22時配信)



【売坊流】異常値分析

日米の中銀総裁は なぜ急に態度を変えたのか

この番組では日本株や米国株のトレードに役立つようなイベント、グレイ・リノ、**異常値**について紹介していきます！

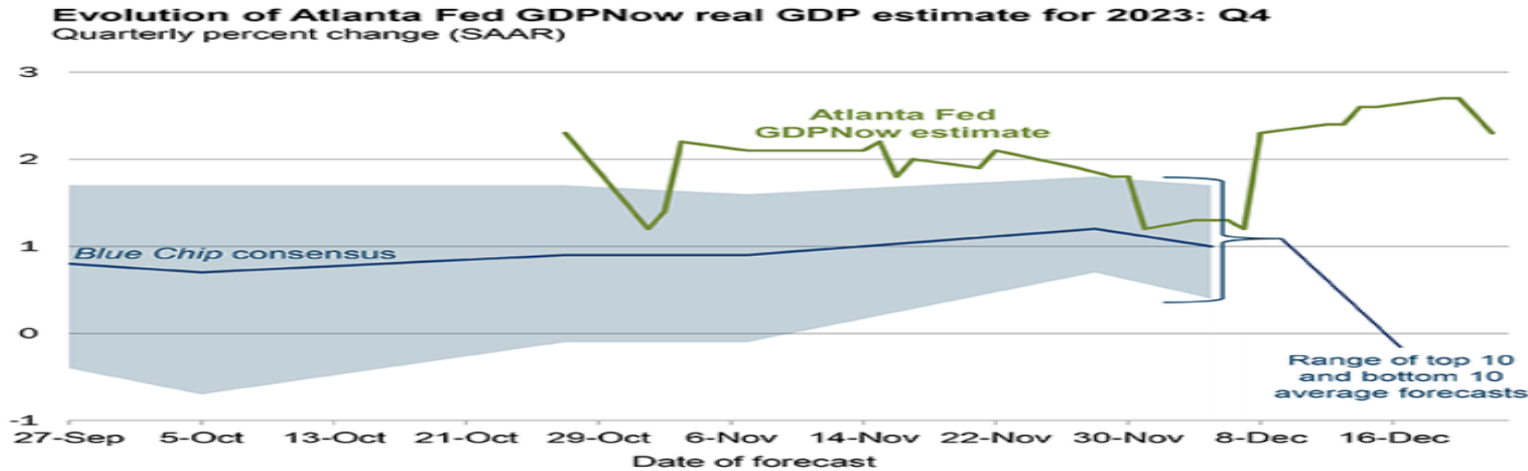


OP売坊



米国の経済成長率に回復機運が

アトランタ連銀の米GDP NowとBlue Chip consensus (民間予測)

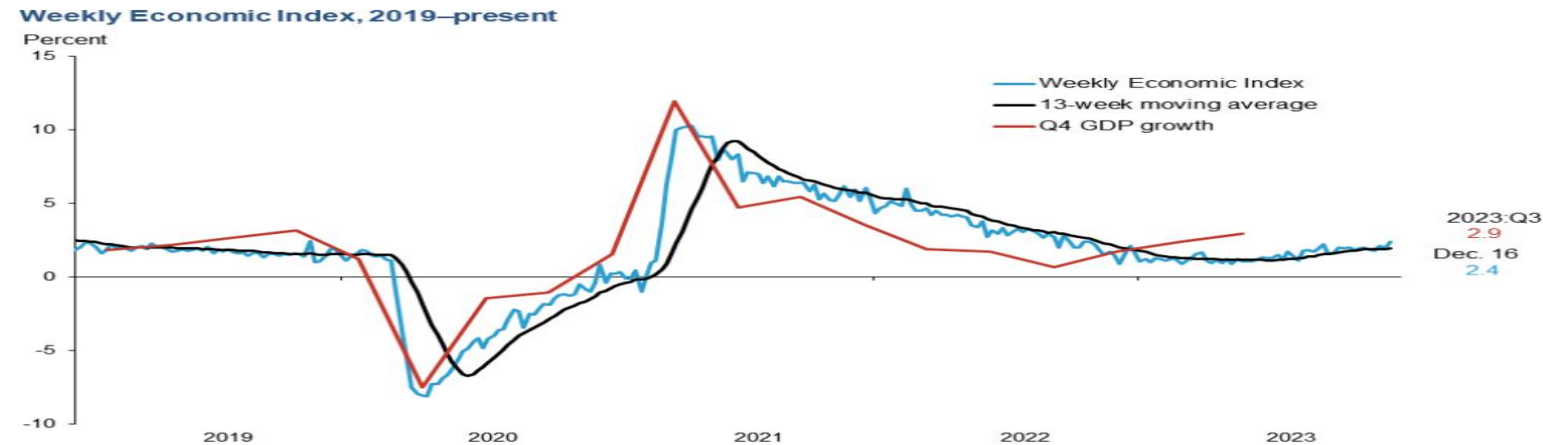


Sources: Blue Chip Economic Indicators and Blue Chip Financial Forecasts

Note: The top (bottom) 10 average forecast is an average of the highest (lowest) 10 forecasts in the Blue Chip survey.

出所) アトランタ連銀 (2023年12月22日現在)

米週次経済活動指数と米GDP



NOTE: Annual real GDP growth (four-quarter moving average) is based on the latest quarterly GDP data release from the Bureau of Economic Analysis.

SOURCES: Authors' calculations based on data from Haver Analytics, Redbook Research, Rasmussen Reports, the Association of American Railroads and Booth Financial Consulting. Federal Reserve Bank of Dallas

出所) NY連銀 Weekly Economic Index (2023年12月7日現在)

GDP Nowは米アトランタ連銀が非公式に出しているGDP (国内総生産) 推計値です。その時点で入手できるデータで更新した推測値となりますので、即時性があります。なお、主観的な修正は入っていません。Blue Chip consensusは、簡単にいいますと、50人以上のエコノミストによる予想の平均となります

足元の景気は上向きつつあると分かります。そのようななか政策金利を下げればインフレが再加速する可能性があります



米CPIに反発機運のなか長期金利は目先下げすぎか

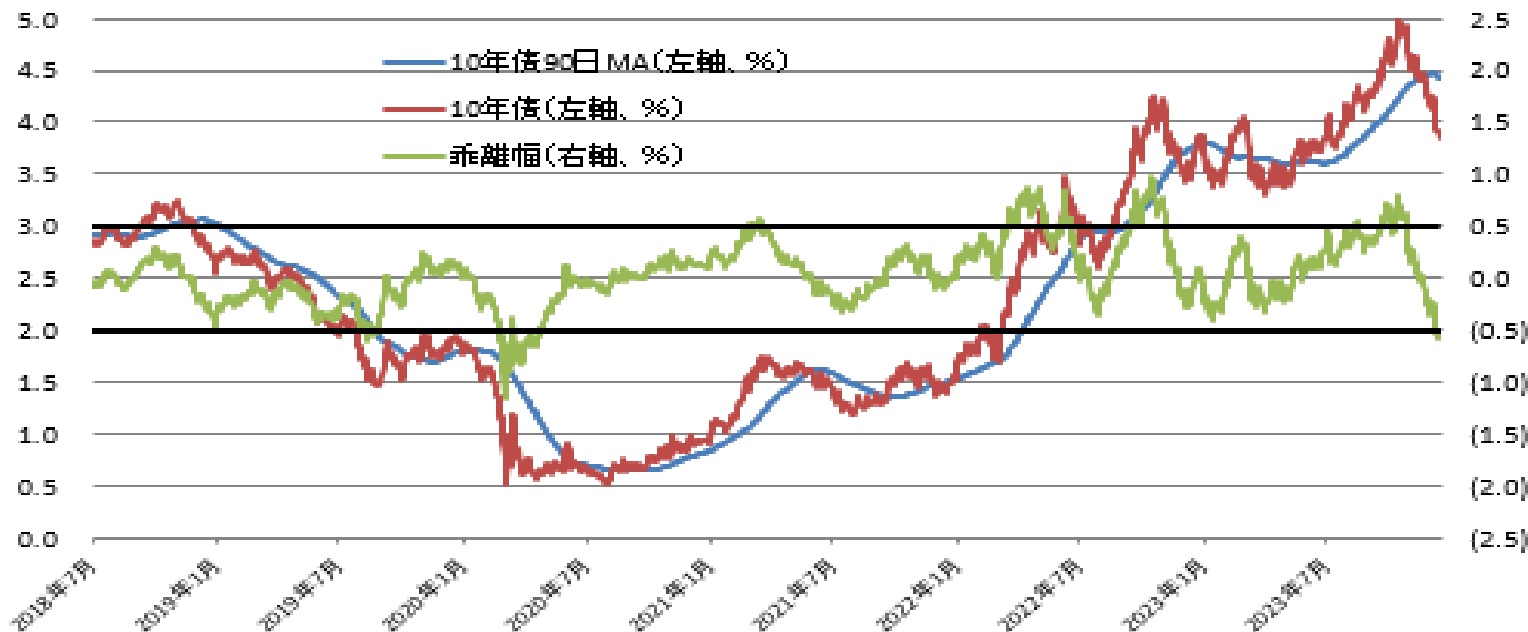
クリーブランド連銀の米CPI（消費者物価指数）予想（11月分は3.1%）

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
December 2023	3.33	3.93	2.69	3.02	12/22

出所) クリーブランド連銀 (2023年12月22日現在)

10年物米国債利回りとその移動平均の乖離幅



出所) ブルームバーグより筆者作成 (2023年12月22日現在)

1月に発表される12月分のCPIがどの程度反発し得るのか、確認しておきましょう。高CPIの発表で金利が急上昇し、株価が下落する可能性は残っていると考えています

乖離幅をみると利回りの低下速度が、かなり急激だったといえるでしょう。たとえば、中長期でさらに下げるとしても、いったんはスピード調整がありそうだと考えています



何かがおかしい日米中銀総裁

植田日銀総裁

<12月7日の国会で>

「年末から来年に向けて
一段とチャレンジングになる」

パウエルFRB議長

<12月初旬まで>

市場の利下げ期待をけん制
→ハト派をけん制

この間に
何かが起こった？



<12月19日の記者会見で>

「2年目も一段と気を引き締めて職務
に取り組む意思を示したという意味」

<12月13日の記者会見で>

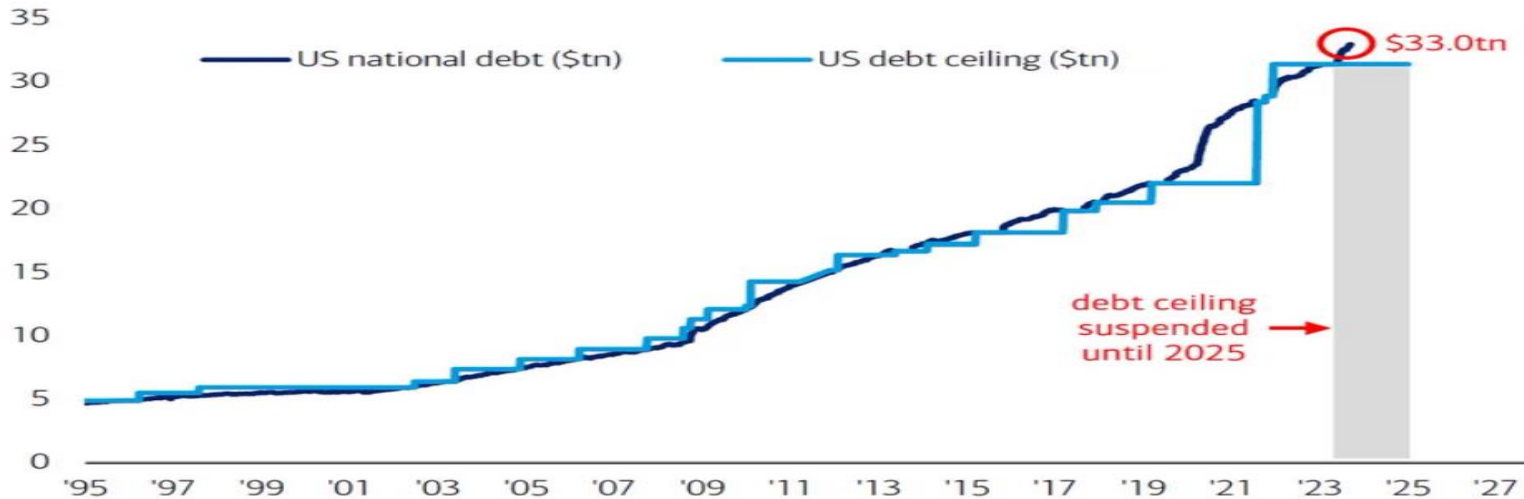
「いつになったら金融引き締めを戻すのが
適正なのか」
→ハト派の先鋒に





FRBの恐れはインフレから金融不安に

米国の政府債務残高と債務上限



Source: BofA Global Investment Strategy, Bloomberg

米国の消費者ローン延滞率

☆ 消費者ローンの延滞率、全商業銀行(DRCLACBS)

ダウンロード

グラフの編集

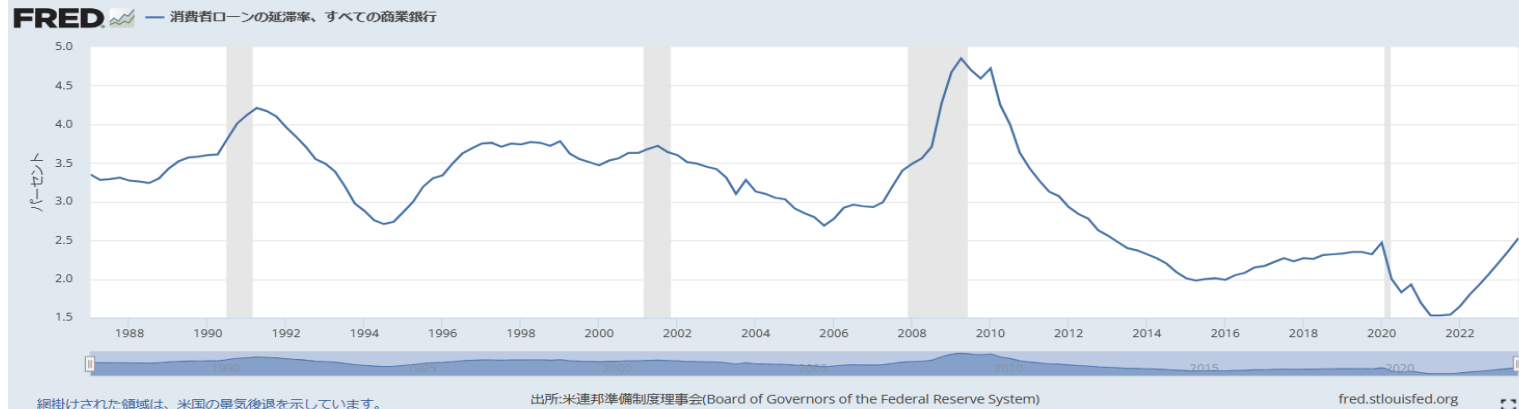
観測:
2023年第3四半期: 2.53
(+ 詳細)
更新日: 2023年11月20日

単位:
パーセント、
季節調整済

周波数:
四半期ごと、
期末

1Yの15歳 | 10年 | マックス

1987-01-01 宛先 2023-07-01



網掛けされた領域は、米国の景気後退を示しています。

出所: 米連邦準備制度理事会(Board of Governors of the Federal Reserve System)

fred.stlouisfed.org

米国政府の債務残高がコロナ禍以降も増えています。その一因として利払い費の増加が上げられるでしょう。高い政策金利（FFレート）が財政をさらに圧迫しているわけです

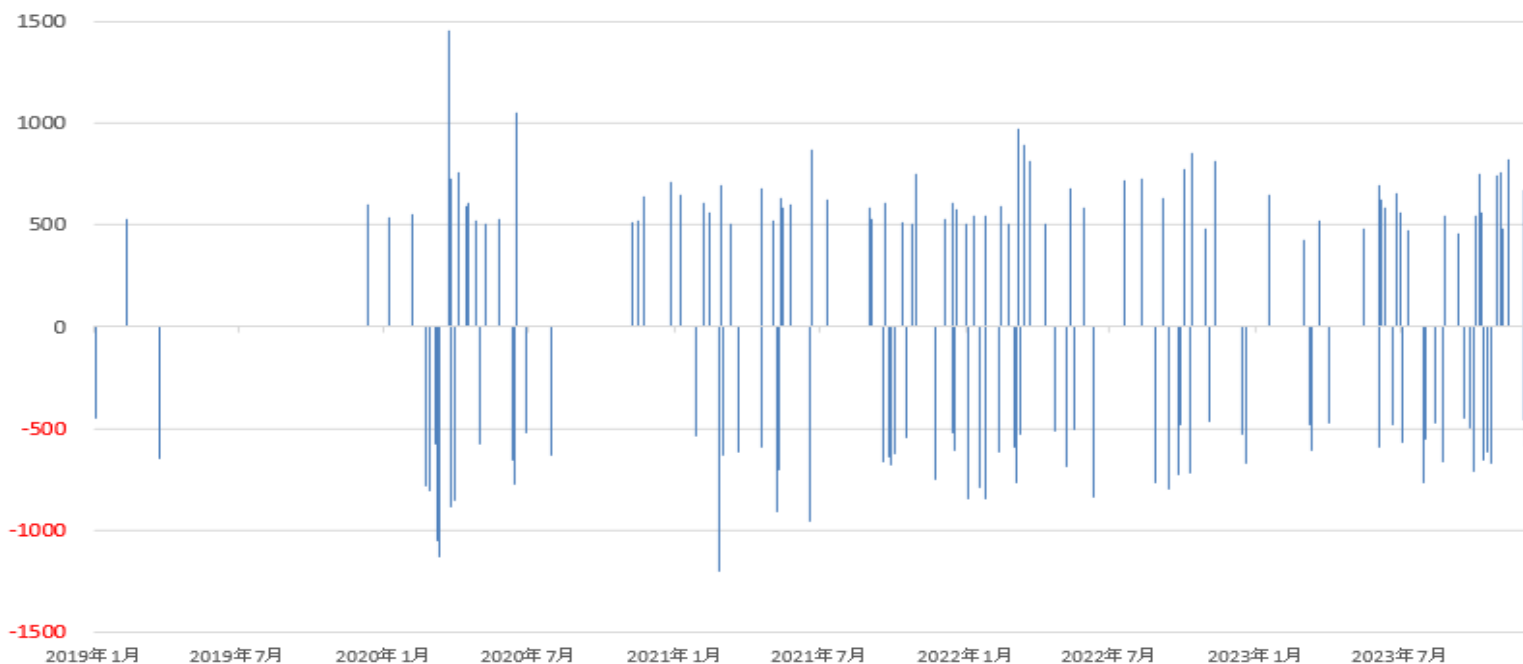
消費者ローンの延滞率が急増しており、コロナ時を超えました。オフィス空室率が20%を超える州も増えています。株式市場が活況の陰で問題が深刻化しており、「どこで火がつくか？」の状態なのかもしれません

出所) www.federalreserve.gov/monetarypolicy/bst_recenttrends.htm



日経平均は2023年も結局「乱高下の年」に

日経平均が450円以上動いた日の値幅



アジアで最も流動性のある市場が日本の株式先物・OPです。欧米で稼げなければ、こちらが稼ぎどころとなります。2023年後半になって日経平均が450円以上の値幅で上下する日数が急増しました。過去4年で一番の確率となっています。これはOP買い戦略にとって朗報です

日経平均が450円以上動いた日数

	±450円以上 回数	現物市場 立ち合い日数	確率	間隔(日)
2020年	29	242	12.0%	8.34
2021年	39	245	15.9%	6.28
2022年	37	244	15.2%	6.59
2023年	45	241	18.7%	5.36
2020-2023年*	150	972	15.4%	6.48



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週※
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html>